

芦教委報告第13号

令和7年度教育委員会関係補正予算について

標記の件について、別紙のとおり報告します。

令和8年1月8日提出

芦屋市教育長 野村 大祐

	事業概要	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
教育費 - 教育総務費 - 事務局費 退職手当の減額	定年前早期退職について、該当者がいなかったため、不用となる額を減額するもの。	▲46,539	+0	+0	+0	▲46,539
教育費 - 小学校費 - 学校建設費 精道小学校空調設備改修工事費の減額		▲62,601	▲18,064	▲33,400	+0	▲11,137
教育費 - 小学校費 - 学校建設費 防犯対策施設整備工事費（小学校）の減額		▲50,600	▲25,553	▲18,700	+0	▲6,347
教育費 - 小学校費 - 学校建設費 体育館空調設備設置工事費（小学校）の減額		▲503,718	▲133,879	▲277,300	+0	▲92,539
教育費 - 中学校費 - 学校建設費 防犯対策施設整備工事費（中学校）の減額	令和7年度当初予算に計上している工事費について、令和6年度補正予算（第9号）により令和6年度に前倒して実施したため、令和7年度予算における重複額を減額するもの。	▲14,740	▲7,443	▲5,400	+0	▲1,897
教育費 - 中学校費 - 学校建設費 体育館空調設備設置工事費（中学校）の減額		▲265,953	▲88,524	▲132,900	+0	▲44,529
教育費 - 幼稚園費 - 幼稚園建設費 防犯対策施設整備工事費（幼稚園）の減額		▲17,127	▲8,649	▲6,300	+0	▲2,178
教育費 - 社会教育費 - 青少年対策費 放課後児童健全育成事業所に対する物価高騰対策支援事業に要する経費追加	光熱費及び燃料費の物価高騰により影響を受けた放課後児童健全育成事業所に対し、安定したサービスの提供を継続できるよう、負担軽減等を目的とし支援するもの。 【支援額（1施設当たり）・支給対象】 1施設当たり単価：698円×面積（㎡） ※送迎がある場合は、燃料費の上昇を踏まえ加算 民設民営の事業所（3か所）	+246	+246	+0	+0	+0

	事業概要	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
教育費 - 社会教育費 - 青少年対策費 保育施設等における光熱費等高騰対策 一時支援金支給事業	県の補正予算に伴い、物価高騰の影響を受けている保育施設等に対し、保育施設等の継続的・安定的なサービス提供を図るため、光熱費や食糧費等の価格上昇分の一部を支援するもの。(補助率：県10/10) (財源内訳の一般財源の減少は、事務費に対する県補助金の追加による財源更正によるもの。) 【支給対象】放課後児童クラブ (3支援) 【支援額】 1施設当たり単価：認可(届出)定員1~9人10,000円、以降10人ごとに20,000円加算 ※定員規模に定めのない施設は定員1~9人の基準額を適用する。	+426	+440	+0	+0	▲14
教育費 - 社会教育費 - 青少年対策費 放課後児童健全育成事業所に対する事業継続支援事業	昨今の物価高騰などを受け、様々な物の価格の変動が急激であり、安定的な地域子ども・子育て支援事業の継続が困難な状況にあることから、物価上昇といった厳しい環境の中でも安定的な事業運営を継続して提供できるように支援するもの。 【支給対象】放課後児童クラブ (23支援) 【支援額】 1支援当たり：50,000円	+1,150	+766	+0	+0	+384
職員給与等との減額 【教育費のみ】		▲7,000	+0	+0	+0	▲7,000
その他の基金への積立て 【教育費のみ】	【内訳】 ・教育振興基金：27,738千円 ・大学等入学支援基金：949千円 ・スポーツ振興基金：5,303千円	+33,990	+0	+0	+34,877	▲887